

# 草は萌え出で

(昭和五十三年第七十回記念祭歌)

朝倉仁樹君 作歌  
田坂幸平君 作曲

## 一

草は萌え出で郭公は鳴き  
憧れ睦ぶ宿舎に  
疾風怒涛の渦の中  
明り求めて放浪いぬ  
巷の塵をふり払い  
悠々迪を歩まん

## 二

蜚声放歌乱舞する  
姿雄々しき吾なれど  
原始林の可憐な白花に  
心ふるわす春もあり  
清き乙女子去りて行く  
恋に涙す秋もあり

## 三

気高き野心の男の児等が  
士幌に山小屋をうち建てぬ  
十勝の山と平原に抱かれ  
果てなく魂翔けるなり  
厳しき北の大地より  
新たな夢に飛びたたん

## 四

読み飲みの語り夜は明け  
熱き情に年は経る  
ああ青春の祭日も  
はや七十を数うなり  
寮生よ再び楡影に  
三十年後に集わなん